

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	矢板式係船岸の改良設計における連成フレーム解析を活用した予備的検討手法に関する研究委託
業 務 概 要	計画準備 1式 設計条件の整理・検討 1式 連成フレーム解析による設計手法の妥当性の検証 1式 効果的な改良工法の選定及び改良断面の検討 1式 協議・報告 3回 成果物 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所長 池田朋広 国土交通省中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所 広島市南区宇部海岸3-10-28
契 約 年 月 日	令和3年8月26日
契 約 業 者 名	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	神奈川県横須賀市長瀬3-1-1
契 約 金 額	21,926,300円（税込み）
予 定 価 格	21,926,300円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務は、連成フレーム解析による設計手法の活用にあたり、設計条件の整理・検討、設計手法の妥当性の検証、効果的な改良工法の選定及び改良断面の検討を行うものである。なお、宇部港本港地区芝中西2号岸壁をモデルとして検討する。 業務の遂行にあたっては、矢板式係船岸における設計や耐震照査方法を熟知していること、矢板式係船岸の改良設計や改良工法に関する研究実績を有していること、矢板式係船岸の改良設計において連成フレーム解析を用いた設計手法に精通しているとともに、解析結果を評価する能力を有していることが必要である。 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所は、矢板式係船岸の設計実務における技術課題検討に多数関わっており、矢板式係船岸における耐震照査方法を熟知している。また、連成フレーム解析を用いた矢板式係船岸の改良設計に関する開発実績や、二段タイ材工法や控え杭間補強工法など矢板式係船岸の改良工法の研究実績がある。以上のことから、本業務を遂行するに必要な十分な能力を有している。 本業務を遂行するに必要な能力を有する者は、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所以外にも存在する可能性があることから、令和3年7月16日から令和3年8月6日までに本業務の業務受注希望者の公募を行った結果、上記の要件を満たす者が当該法人を除いて存在しないことが確認された。 以上のことから、会計法第29条の3第4項（「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」）、予決令第102条の4第3項の規定に基づき、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所と随意契約を締結するものである。
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 （ 自 ）	令和3年8月26日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和4年3月18日
備 考	